



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 ダイトエレクトロン株式会社

コード番号 7609 URL <http://www.daitron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前 績行

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 福嶋 圭一 TEL (06) 6399-5041

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	28,268	8.3	436	-	475	482.2	352	-
25年12月期第3四半期	26,096	△3.2	11	△96.4	81	△81.1	△8	-

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 353百万円 (54.2%) 25年12月期第3四半期 229百万円 (△19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	31.72	-
25年12月期第3四半期	△0.78	-

(注) 1. 平成25年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	26,229	11,928	45.5	1,073.85
25年12月期	23,766	11,630	48.9	1,047.04

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 11,924百万円 25年12月期 11,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-
26年12月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	10.3	550	296.6	570	125.6	400	-	36.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	11,155,979株	25年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	51,184株	25年12月期	51,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	11,104,796株	25年12月期3Q	11,111,796株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策を背景に、輸出産業を中心とした企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどが見られ、消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動による影響が見受けられたものの、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。

世界経済におきましては、米国経済が堅調に推移するなか、ウクライナ問題や中東問題など政情不安の影響が懸念されますが、景気は拡大傾向にて推移しております。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、自動車関連、スマートフォンやタブレット端末及びその周辺機器関連などの分野を中心に需要が回復基調にて推移しております。

このような状況下、当社グループは当連結会計年度を初年度とする第8次3ヵ年経営計画の4つの戦略テーマである「オリジナル製品の強化・拡大」「海外ビジネスの強化・拡大」「新規市場・顧客の開拓」「既存市場・顧客の深耕と横展開」に積極的に取り組み、前述の経済環境の影響も受け、売上、利益共に大きく改善いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は28,268百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は436百万円（前年同期は11百万円の利益）、経常利益は475百万円（前年同期比482.2%増）、四半期純利益は352百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

電子機器及び部品

当セグメントにつきましては、主要な市場であります産業用機械・設備市場において、企業の生産活動の活発化に伴い、「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネスが自動車関連市場及び半導体製造装置関連市場に、また、「エンベデッド（組込み用ボード）システム」のコンピュータ周辺機器が組込み用モニターや製造装置の設備市場にてそれぞれ好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は前年同期の実績を上回りました。しかしながら、利益面では新規事業に対する先行投資の増加などにより前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は18,687百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益（営業利益）は111百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

製造装置

当セグメントにつきましては、厳しい事業環境が続いておりましたが、企業の設備投資が回復傾向で推移していることから、当第3四半期連結累計期間には売上高に寄与するまでには至っていないものの受注が大幅に増加しており、業績の回復に向けて明るい兆しが見え始めております。このような状況下、「電子材料製造装置」は受注が回復傾向にあるものの、業績は依然厳しい状況にて推移いたしました。一方、「L S I 製造装置」はスマートフォンやタブレット端末等の生産設備の需要が増加したこと、「光デバイス製造装置」のLED製造装置等が概ね好調に推移したことから、当セグメントの売上高は前年同期の実績を上回り、利益面におきましても損失額が圧縮されました。

この結果、当セグメントの売上高は4,909百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント損失（営業損失）は50百万円（前年同期は158百万円の損失）となりました。

国内子会社

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品事業を行っておりますダイトデンソー株式会社は、企業の生産活動の活発化に伴いハーネスアセンブリ等が好調に推移し、売上、利益共に前年同期の実績を大きく上回りましたが、製造装置事業を行っておりますダイトロンテクノロジー株式会社は、企業の設備投資が回復傾向にて推移していることから受注は増加傾向にあるものの、売上高は厳しい状況が続きました。このような状況から当セグメントの売上高は前年同期の実績を下回りましたが、利益面では製造原価の見直しや販売費及び一般管理費の圧縮などにより前年同期の実績を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は1,565百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益（営業利益）は269百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

海外子会社

当セグメントにつきましては、アジア市場においてスマートフォンやタブレット端末関係の投資や日本企業の生産移転の増加などにより大都電子（香港）有限公司、大途電子（上海）有限公司の業績が改善しました。しかしながら、米国市場において、ダイトロン、INC. では、鉄道車両向けハーネスの顧客の生産計画による一時的な生産減少が業績に影響したことなどにより、当セグメントの売上高は前年同期の実績を若干上回ったものの、利益面では前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,106百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は21,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,715百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,767百万円、電子記録債権が487百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少いたしました。これは有形固定資産が94百万円、無形固定資産が53百万円、投資その他の資産が103百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は26,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,463百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,173百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,525百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ992百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が922百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,166百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が296百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.5%となり、前連結会計年度末との比較で3.4ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の見通しにつきましては、輸出産業を中心に堅調な推移が見込まれており、また、設備投資関連の需要についても回復傾向が続くものと見込まれることから、個人消費にはやや弱さが見られるものの、全般的には緩やかながらも拡大傾向にて推移するものと見込まれます。

当社グループでは、上記の事業環境や第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成26年8月1日公表の「平成26年12月期 第2四半期決算短信」に記載の通期業績予想及び配当予想を修正いたしました。

なお、通期業績予想及び配当予想の詳細に関しましては、本日平成26年11月4日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,611,441	5,317,814
受取手形及び売掛金	9,009,210	10,776,231
電子記録債権	945,276	1,432,525
商品及び製品	1,366,500	1,695,409
仕掛品	743,521	999,914
原材料	222,179	330,603
その他	594,358	656,501
貸倒引当金	△904	△1,868
流動資産合計	18,491,584	21,207,133
固定資産		
有形固定資産	3,332,978	3,238,370
無形固定資産	146,578	92,971
投資その他の資産		
その他	1,831,125	1,758,655
貸倒引当金	△36,163	△67,321
投資その他の資産合計	1,794,961	1,691,334
固定資産合計	5,274,518	5,022,676
資産合計	23,766,103	26,229,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,642,959	9,168,895
短期借入金	100,000	507,500
1年内返済予定の長期借入金	1,039,970	66,660
未払法人税等	97,284	268,337
賞与引当金	49,666	353,648
その他の引当金	38,431	55,277
その他	1,145,460	867,033
流動負債合計	10,113,772	11,287,350
固定負債		
長期借入金	—	922,230
退職給付引当金	1,758,353	1,854,666
資産除去債務	46,862	47,393
その他	216,557	189,923
固定負債合計	2,021,773	3,014,213
負債合計	12,135,546	14,301,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,482,896	2,482,896
利益剰余金	6,691,248	6,987,951
自己株式	△19,329	△19,335
株主資本合計	11,355,523	11,652,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,905	325,512
繰延ヘッジ損益	118	△9,652
為替換算調整勘定	△59,357	△43,201
その他の包括利益累計額合計	271,667	272,658
少数株主持分	3,366	3,366
純資産合計	11,630,556	11,928,245
負債純資産合計	23,766,103	26,229,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	26,096,607	28,268,049
売上原価	20,626,061	22,252,855
売上総利益	5,470,545	6,015,194
販売費及び一般管理費	5,458,574	5,578,288
営業利益	11,971	436,905
営業外収益		
受取利息	5,687	5,440
受取配当金	7,879	10,450
為替差益	66,905	12,289
雑収入	33,819	47,505
営業外収益合計	114,292	75,686
営業外費用		
支払利息	30,425	22,298
手形売却損	3,326	3,411
雑損失	10,833	11,355
営業外費用合計	44,585	37,065
経常利益	81,678	475,526
特別利益		
固定資産売却益	862	19,357
投資有価証券売却益	421	—
特別利益合計	1,283	19,357
特別損失		
固定資産除売却損	8,446	163
特別損失合計	8,446	163
税金等調整前四半期純利益	74,515	494,720
法人税、住民税及び事業税	209,400	318,580
法人税等調整額	△126,219	△176,087
法人税等合計	83,181	142,493
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,666	352,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,666	352,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△8,666	352,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204,921	△5,392
繰延ヘッジ損益	△3,259	△9,771
為替換算調整勘定	36,025	16,155
その他の包括利益合計	237,687	990
四半期包括利益	229,021	353,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,021	353,217
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	16,654,664	4,684,708	1,703,401	3,053,832	26,096,607	—	26,096,607
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	627,391	138,331	2,950,602	64,643	3,780,968	△3,780,968	—
計	17,282,056	4,823,040	4,654,004	3,118,475	29,877,576	△3,780,968	26,096,607
セグメント利益 又は損失(△)	151,492	△158,717	9,849	72,648	75,273	△63,302	11,971

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△63,302千円には、セグメント間取引消去51,436千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,738千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	18,687,046	4,909,452	1,565,315	3,106,234	28,268,049	—	28,268,049
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	769,704	191,881	3,287,704	97,281	4,346,571	△4,346,571	—
計	19,456,751	5,101,334	4,853,020	3,203,515	32,614,621	△4,346,571	28,268,049
セグメント利益 又は損失(△)	111,586	△50,647	269,337	62,416	392,693	44,212	436,905

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額44,212千円には、セグメント間取引消去64,876千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△20,664千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。